

環境未来都市構想／論点

1. 現時点から近未来(2050年)までの課題(「想定外」と言わない言わせない)

- フォアキャスト ・日本の少子高齢化&人口減少 ⇒ 経済基盤縮退
- ・世界の人口増加と経済発展 ⇒ 地球環境問題
資源枯渇、資源危機
地域紛争
- ・巨大自然災害
- バックキャスト ……2050年ゴールの設計／フォアキャスト課題の解決

2. 「環境未来都市」構想における政策課題

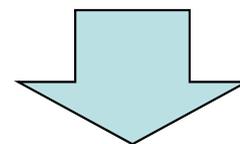
- 世代間モラル ・世代間負担の意義の明確化
- 現世代金融資産(フロー)の次世代実物資産化(ストック) ⇒ 金融・財政
- 国民(大衆)の理解 ⇒ ゆで蛙現象:もはや政策プロパガンダの要?

3. 手法事例(2050年地域モデル／ストック型社会モデル)

- アロケーション
- 長寿命型コンパクト街区
- 社会実装シナリオ
- ツール開発 ⇒ 市民参画システムの開発(含む:成り行きシナリオ)
- 市民&産学官／夢・希望・可能性の共有

現代社会の危機的状況をつくる三つの現象

① 多様化・細分化・専門分化

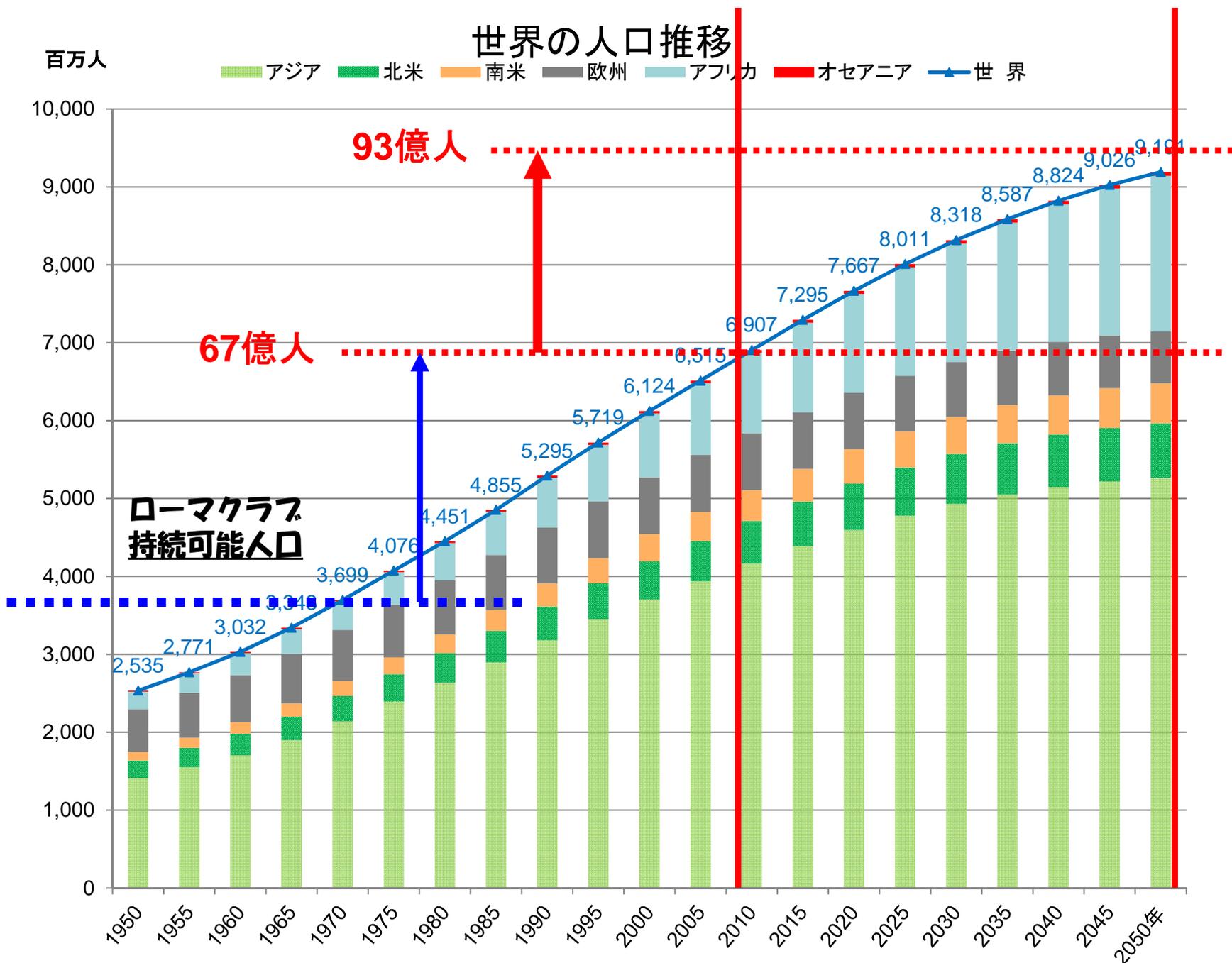


部分最適型社会

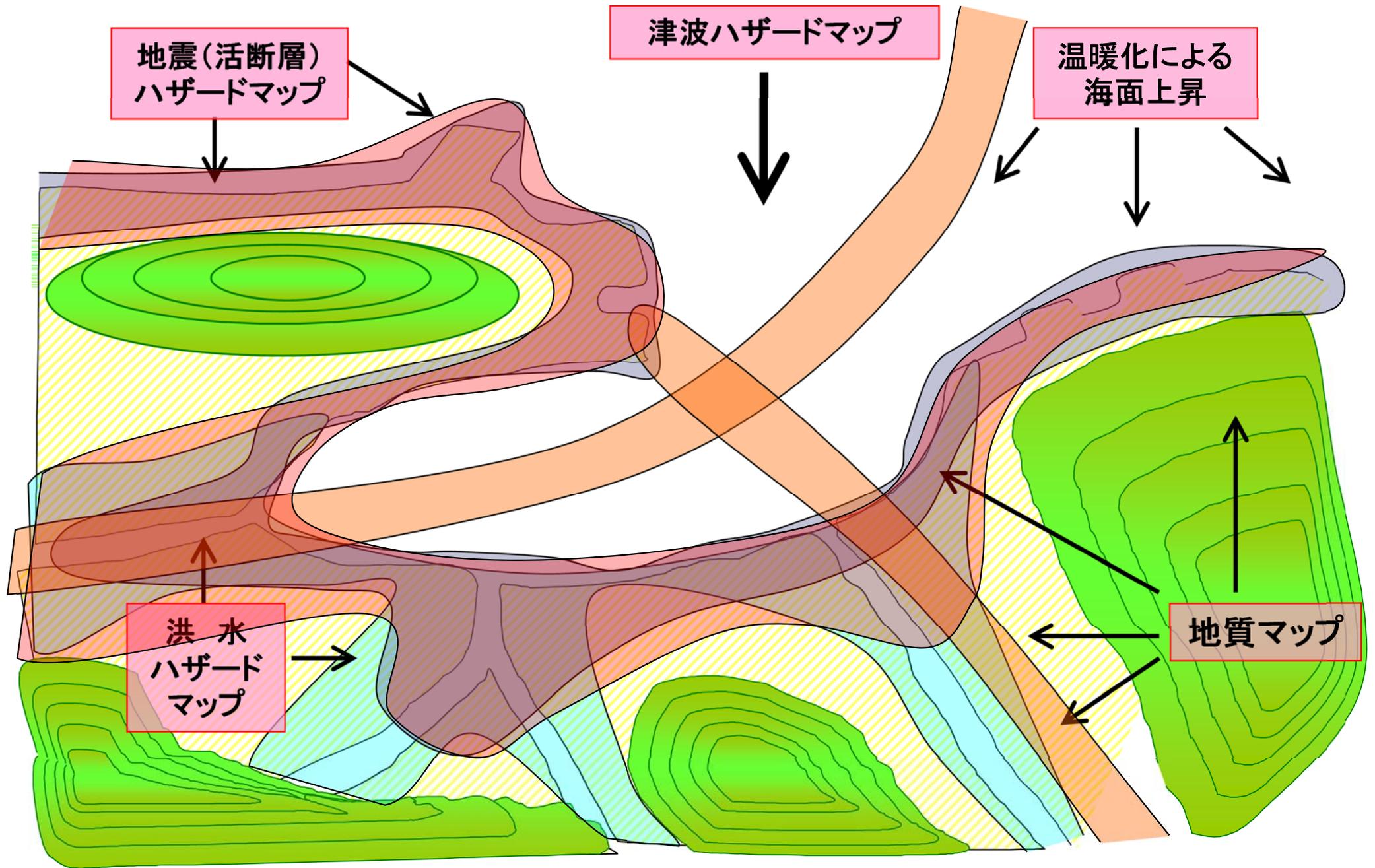
② 指数変化 急速な変化

③ ①, ②の下でのグローバル化

激増の世界人口 地球上にヒトは何人住める？



都市域のアロケーション

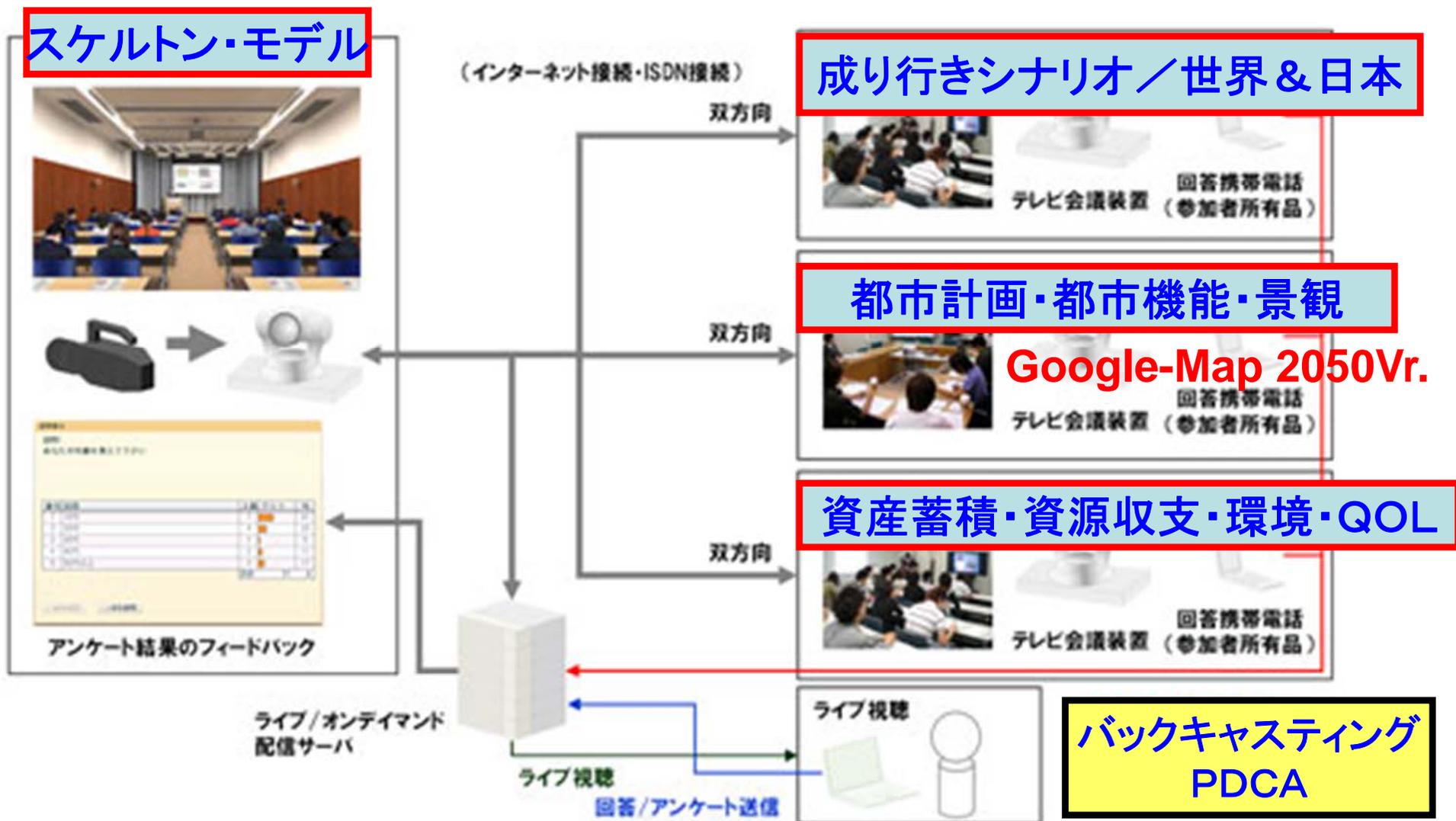




破壊された日本人の美意識

目先の便利なコトを追ってきたら
大きな大切なコトを失っていた

①2050年ゴール(地域景観・生活・経済・資源・環境)とプロセス(5W1H)の公開とアイデア収集。



Google Map 私が住んでいた町並み(ローマ)



先ずはイメージ! この未来(2050年)バージョンは可能?

例えば、市民が町内会単位で未来づくりに参画

一般市民参画の
地域政策シミュレーター

部分テーマに分断しない！
統合解として市民が理解



地域政策シミュレータを基にした持続可能な地域づくり概要

既存市街地 ⇒ 2050年ストック型地域圏設計

I : 市民向け説明手法の研究
(2050年までの地域課題・・・
・・・世界課題)

II : ストック型地域圏設計方法の研究

- II-1 : 人間圏の設計
(コンパクト&長寿命型資産)
- II-2 : 自然圏の設計(発生余剰地)
自然資源ポテンシャル
- II-3 : 統合圏(上記の最適組合せ)

III : 社会実装方法の研究
市民意見創出(課題⇒対策)
ビジネスモデル
体制(産学官民)

ステアリング
コミッティー
2030年スケルトン
実装の施策(制度等)

2050年八幡東区的设计図
2050年時点のスケルトン
* 先ず持続の必要条件だけ

2030年ゴール的设计図

2020年ゴール的设计図
2030年のスケルトン
その実装に必要な施策実施

(社会変化への軌道修正)
PDCA